

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成23年8月9日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

### 発 表 事 項

1. 初の試み！山形大学が文部科学省で科学教室を開催
2. 人文学部学生が東松島市大曲浜の復興計画にコミット！
3. スマイルエンジン山形 × 立命館大学とコラボ
4. お宝発掘！「教育県 山形」を造る一翼を担った教材達

### お 知 ら せ

1. 応用物理学会『学術講演会』
2. 工学部公開講座『高分子ナノテクノロジーの最前線』
3. 附属中学校公開講座『親子で楽しむ秋の星座』
4. 附属幼稚園 すこやか広場『親子でぺたぺた、まぜまぜしよう』
5. Y-MOTネットワーク『イブニングサロン in YONEZAWA』
6. 農学部 ひらめき☆ときめきサイエンス

『生物の多様性を考えるー土壤微生物・植物・昆虫間の相互作用ー』

(参 考)

- 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成23年9月6日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成23年8月9日  
山形大学

## 文部科学省・山形大学 共同イベント

### 初の試み！山形大学が文部科学省で科学教室を開催

文部科学省を始めとする24府省庁等が実施する「子ども霞ヶ関見学デー」に、山形大学が科学・理科の楽しさを出前します。

日時：平成23年8月17日（水）、18日（木）13：00～16：00

場所：文部科学省庁舎2階エントランス前ひろば（東京都千代田区霞が関）

対象：自由参加（どなたでも。当日、会場にお越しください。）

プログラム：

◎クラゲにタッチ！！

水槽に入ったクラゲにタッチしてみよう。

◎プラバンで作ってみよう！

プラスチック板に自由に絵を描いて、キーホルダーを作ってみよう。  
作ったキーホルダーはおみやげに。

◎のびーるのびるスライム遊び

身近な素材でスライムを作ってみよう！

◆「子ども霞が関見学デー」は、子どもたちが親の職場を見学すること等を通して、親子のふれあいを深め、広く社会を知る機会とするために、文部科学省を中心に始まった取組です。

◆職場見学のほか、各府省庁等ごとの特色を生かし、子どもたちを対象に広く社会を知る様々なプログラムを設け、毎年、24府省庁等が一斉に実施しています。

（お問い合わせ）

山形大学総務部広報室

（TEL）023-628-4005



夏休みの思い出に

# 親子で、みんなで参加しよう!



## 1 スポーツ交流イベント

### ◎「吉田秀彦さんと柔道を知ろう! ~ VIVA JUDO ! ~」(要事前申込)

- \*日時 8月17日(水) 14:00~16:00 (①14:00~15:00 ②15:00~16:00)
- \*場所 文部科学省庁舎前(コモンゲート側)「霞テラス 中央ひろば」
- \*定員 100名(各50名)

会場に実際の畳を敷き、子どもたちが柔道着を着て、吉田さんから柔道の楽しさや心構えを直接聞く貴重な機会となる交流イベントです。吉田さんと柔道師範の迫力ある柔道実演も見ることができます。



イベント会場では  
筑波大学の協力により、  
ロボットスーツ「HAL」  
の実演も予定!

Prof. Sankai University of Tsukuba /  
CYBERDYNE Inc.

### ◎「霞が関をクールダウン! ~みんなで打ち水~」(自由参加)

- \*日時 8月18日(木) 12:00~
- \*場所 文部科学省庁舎前(コモンゲート側)「霞テラス 中央ひろば」

都心のヒートアイランド緩和対策に、子どもたちと大人が一緒になって楽しく打ち水を行う「霞の打ち水2011」とのジョイントイベントです。当日はスポーツ選手等にも参加を呼びかけています。



文部科学省大臣官房総務課広報室PRODUCE!!

# 文部科学省「子ども見学デー」イベント

## 2 科学・理科体験イベント + 山形大学 SCITA センターとコラボレーション!

- \*日時 8月17日(水)・18日(木) 13:00~16:00
- \*場所 文部科学省庁舎2階エントランス前ひろば

### ◎クラゲにタッチ!! (自由参加)

水槽に入った珍しいクラゲが数種類! 手袋をして安全なクラゲにさわられます。最後はクラゲと一緒に記念撮影しましょう。

### ◎プラバンで作ってみよう! (自由参加)

プラスチック板に好きな絵や模様を書き、オリジナルのキーホルダーを作ります。もちろん! 作ったキーホルダーはおみやげとして持ち帰りできます。

### ◎のび~るのびるスライム遊び (自由参加)

身近な素材でドッキリ? ひんやり? スライムを作ってみよう! スライムはお家でも遊べるように、おみやげとして持ち帰りできます。



# 8月17日水・18日木

※各イベントの申込みや集合場所等は個別プログラムの詳細を確認ください。  
※天候等の理由により予告なく中止する場合があります。

文部科学省庁舎前  
西側霞テラス 中央ひろば 及び 2F正面ひろばにて開催!!

### ■申込み・問い合わせ先

文部科学省大臣官房総務課広報室事業第二係  
〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2  
Tel 03-5253-4111 (内線2170) Mail hiroba@mext.go.jp

### ■文部科学省子ども見学デーホームページ

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/ikusei/kengaku/](http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kengaku/)

〈会場〉





# 文部科学省「子ども見学デー」

山形大学が科学・理科の楽しさを出前します！  
夏休みの思い出に、親子で、みんなで参加しよう！

## 科学・理科体験イベント (自由参加) 十山形大学SCITAセンターとコラボレーション

### クラゲにタッチ!!

水槽に入った珍しいクラゲが数種類！  
手袋をして安全なクラゲにさわれます。  
最後はクラゲと一緒に記念撮影しよう。



### プラバンで 作ってみよう!

プラスチック板に好きな絵や模様を書き、  
オリジナルのキーホルダーを作ります。もちろん！  
作ったキーホルダーはおみやげとして持ち帰れます。



### のび~るのびる スライム遊び

身近な素材でドッキリ?ひんやり?スライムを  
作ってみよう!スライムはお家でも遊べるように、  
おみやげとしてお持ち帰りできます。



8月17日(水)・18日(木) 13:00~16:00

文部科学省庁舎2階エントランス前ひろば

●申込み・問い合わせ先

文部科学省大臣官房総務課広報室事業第2係 〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

Tel 03-5253-4111(内線2170) Mail hiroba@mext.go.jp

山形大学総務部広報室 〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

Tel 023-628-4008 Mail koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



平成23年8月9日  
山形大学

## 人文学部学生が東松島市大曲浜の復興計画にコミット！

人文学部震災復興支援学生プロジェクトが、東松島市大曲浜地区の復興計画策定に参画します。

- ◆「山形大学人文学部震災復興支援学生プロジェクト」（代表：遠藤大地君）は、本年3月28日に東日本大震災の被災者支援のために設立されました。このプロジェクトは、最低でも1年を目途として活動を継続することとして結成されました。現在メンバーは、人文学部の学生を中心に数人の現地OB社会人等の参加を得ながら学内外15人の構成員で、被災者と被災地の支援活動を精力的に行っています。学生たちは、このプロジェクトをとおして、社会参加と社会貢献、「復興」とはどうゆうことかを学びます。
- ◆学生プロジェクトは、これまで、山形市内避難所（総合スポーツセンター）でのボランティア活動に取り組みながら、宮城県東松島市と石巻市における復興支援活動として、①除菌水を作る機械の設置・除菌用品の提供 ②炊き出し ③ヘドロの処理 ④瓦礫の処理等の活動を行ってきました。また、被災地で使用する自転車・小型バイクの収集・修理・提供等も行っています。特に、被災地の床上・床下浸水家屋を中心とした住環境における、衛生確保のために設置した除菌水を作る機械は高く評価されています。
- ◆これらの取り組みは、企業、社会福祉法人、NPO、大学周辺の自営業者などからなる、学生プロジェクト「サポート企業ネットワーク」や被災地の協力家庭と連携して行われています。
- ◆住環境の衛生確保を始めとする、これまでの様々な活動が評価され、東松島市大曲浜地区の復興計画策定のための協力・提案を依頼されました。今後の活動としては、住環境の衛生確保、復興計画策定への協力・提案と並行しながら、同地区を中心とした被災地域住民の話し相手等の活動を継続していきます。

※山形大学では、様々な東日本大震災復興支援活動を推進しています。

○日常の中の色々な時間を少し集めて、継続したサポートを無理なく続けていく「スマイルトレード10%」。

○被災地でニーズに合わせたボランティア計画を立案し実施する、単位認定授業としての「実践的キャリア教育学」。

(お問い合わせ)

人文学部地域連携室長

エンロールメント・マネジメント部

教授 北川忠明

准教授 村松 真

(TEL:023-628-4868)



平成23年8月9日  
山形大学

## スマイルエンジン山形 × 立命館大学とコラボ

山形大学・立命館大学・東北芸術工科大学 夏期合同企画  
3つの大学が連携し「スマイルエンジン山形」で  
東北復興支援活動を行います。

- ◆立命館大学の学生25名が、ボランティアバス「スマイルエンジン山形」に参加します。ボランティア終了後は参加者全員で、振り返りの時間を共有します。
- ◆また、震災復興支援について学生シンポジウムを行い、議論を深めます。

日時：平成23年8月19日（金）～8月23日（火）  
（19日、23日はバス移動日）

スケジュール：

- 8月20日（土）終日ボランティア活動（スマイルエンジン山形：定期便）
- 8月21日（日）終日ボランティア活動（スマイルエンジン山形：学生便）
- 8月22日（月）東北未来塾（学生シンポジウム）

時間：13：00～ 交流会：

会場：山形大学基盤教育2号館（小白川キャンパス）

◆震災をきっかけとして、コミュニケーションや経済、社会の仕組みはどう変わる？どう変えたい？

その中で、私たちはどうアクションしたらいい？

山形大学、東北芸術工科大学、立命館大学の学生達が、これまでの経験、知識、2日間のボランティア活動で感じたことを様々な視点で考え、議論し、提言を行います。

※立命館大学は、今回の活動のために7月2日の「スマイルエンジン山形」に参加して、学生リーダーを育成し準備しています。

※8/20(土)スマイルエンジン山形:定期便は、通常どおり一般の参加者も募集します。  
お申し込みサイトは“スマイルエンジン山形”で検索をお願いします。

※8/22(月)東北未来塾は、一般の方の参加も歓迎いたします。  
お申し込みサイトは“東北未来塾0822一般参加”で検索をお願いします。

(お問い合わせ)

エンロールメント・マネジメント部 教授 平尾 清

TEL：023-628-4866

e-mail：goodhope@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



# ☆夏休み立命館大学合同バス企画☆



☆立命館大×山形の合同ボランティア  
バスが運行します！

8月20日(定期便)、21日(学生便)に山形大学の協定校である京都府の立命館大学と共同のスマイルエンジンを運行します！

立命館大学からは25名が参加し、東北の学生とともに被災地で復興支援の現状をリアルに体験するとともに、この体験から“学び”や“気づき”を共有するディスカッションを行います。

受付先:スマイルエンジン山形HP登録フォーム <http://www.smiletrade10.com/engine/>  
※工学部・農学部の学生には旅費(交通費+宿泊代)を支給します。

## ☆立命館大×山形の合同シンポジウムが開催されます！

また、8月22日(月)には立命館大学の学生とともに震災やボランティアに関する合同シンポジウムを行います。普段なかなか接することのない立命館の学生との交流は、とても貴重なものになるでしょう。

### ■8月22日(月)のスケジュール

9:00 ワークショップ(シンポジウム準備)@基盤教育2号館→13:00 公開シンポジウム@基盤教育2号館  
→17:00 懇親会@厚生会館2F→19:00頃 解散

### シンポジウム応募要項

- 募集〆切 : 8月10日(水)17:00まで
- 募集人数 : 20名程度(先着順)
- 対象 : 山形の大学生・専門学校生
- 参加費用 : 無料(工学部・農学部の学生には旅費(交通費+宿泊代)を支給します。)
- 応募 : “東北未来塾 0822”で検索、エントリーフォームから登録  
エントリーフォーム <http://kokucheese.com/event/index/15177/>

お問合せ先 : EM部・教授 平尾清  
電話:023-628-4866 携帯:090-8494-4244  
Mail: [goodhope@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:goodhope@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)  
渉外部大学連携担当(大学コンソーシアムやまがた事務局) 樋口浩朗  
電話:023-628-4842 携帯:090-7332-7472  
Mail: [higu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:higu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

参考URL : Smile Trade 10% <http://www.smiletrade10.com/>  
立命館大学「東北に、会いに行く。」  
[http://www.ritsumeiji.jp/news/detail\\_j/topics/8940/year/2011/name/volunteer](http://www.ritsumeiji.jp/news/detail_j/topics/8940/year/2011/name/volunteer)



平成23年8月9日  
山形大学

## お宝発掘！「教育県 山形」を造る一翼を担った教材達

教育県と言われる山形を造る一翼を担った貴重な教材達が、50年ぶりに暗い書庫の中から発掘されました。是非ご覧ください。

日時：平成23年7月26日（水）～8月25日（木） **好評展示中**  
平日9：00～17：00

ただし、8月15、16日は休館。8月24日は午前中のみ開館。

1階閲覧室の展示は、図書館開館中は随時見学可能です。

場所：山形大学小白川図書館1階閲覧室入口及びシアタールーム  
(山形市・小白川キャンパス)

◆山形大学小白川図書館・附属博物館には、旧制山形高校と山形県師範学校の時代から伝わった「教育用掛図」や「歴史人形」が保存されています。  
今回の特別展では50年ぶりに、書庫の奥深くに眠る、知のお宝を紹介します。

◆「教育用掛図」とは大正から昭和の初期まで使用された「目で見る教材」です。  
スライド等の映像機器や図鑑等の印刷物が不足している時代に、教室の前に吊して解説できる掛図はなくてはならない教材でした。

### ◆主な展示物

- ・日本の服飾の変遷を示す「歴史人形」（土人形28体）
- ・慶応から大正までの紙幣を集めた「大日本帝国紙幣古今集」
- ・外国語教材として使用したと思われる「独乙語参考資料（風景）」
- ・芸能科図画鑑賞指導用掛図の「紙本着色鶏図」「唐三彩陶馬」
- ・元素の「ハーバード周期律表(1925年製)」
- ・その他、当時の小学校の教科書や関連図書も展示

どの展示物も、現存するものが非常に少なく貴重な資料群となっております。

(お問い合わせ)

山形大学小白川図書館 石山

(TEL) 023-628-4914

山形大学附属博物館 高橋

(TEL) 023-628-4930



平成23年度山形大学  
オープンキャンパス特別展



# お宝発掘!

## 近代山形の教育を支えた 教材展

図書館・博物館の奥深くに眠る、知のお宝をご紹介します!  
「教育県 山形」を造る一翼を担った、  
豊かな教材群をこの機会にぜひご覧ください。

### 会期

2011年7月26日 (水)  
～8月25日 (木)

### 会場

山形大学小白川図書館  
1階閲覧室入口  
およびシアタールーム

### 入場無料

主催 山形大学小白川図書館  
山形大学附属博物館



上: 鉱物標本 国史教科書小学児童用 昭和初期  
中: 教育用挿絵《大日本帝国紙幣古今集》大正4年  
下: 教育用歴史人形《中古平安朝時代婦人正服着用人形》大正頃



# プレス通知資料（概要）

平成23年8月9日  
山形大学

## 1. 応用物理学会『学術講演会』

(概要) ◆応用物理学会では、毎年、春と秋に全国規模の学術講演会を開催しています。

◆今年、山形市を会場に約6,000人が参加して秋季講演会が開催されます。

◆常設の分科会や合同セッションでの一般講演(口頭・ポスター)に加えて、分科内総合講演や特別シンポジウムなど招待講演も開催されます。

◆また、理化学・計測機材展(展示会)を併設し、産官学のコミュニケーションの場を提供しています。

日時:平成23年8月29日(月)～9月2日(金)

場所:山形大学小白川キャンパス(山形市)

### ◇特別シンポジウム「有機EL研究開発25年:これまでとこれから」

○有機ELは、環境にやさしい高効率な次世代光源としての地位を確立してきました。

○有機ELは日本が世界を牽引してきた分野であり、より深く解明すべき内容が多々あります。今後、新原理に基づく新規材料、新デバイス開発や外部量子効率の更なる改善に向けて、特別シンポジウムを企画しました。

○その発展に貢献してきたEL研究開発の拠点の1つである山形にて、今後も世界をリードし続けるために、有機ELのこれまで、これからを議論します。

日時:平成23年8月29日(月) 9:20～18:00

場所:山形大学基盤教育2号館 2階222教室(山形市・小白川キャンパス)

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

### ◇超伝導100周年特別シンポジウム「100年の歴史に学ぶ超伝導

～新たな100年の発展に向けて～」

○超伝導はちょうど100年前にオランダのカマリン・オンネスによって発見された特異な物理現象です。

○本特別シンポジウムでは、この超伝導発見100周年を記念し、様々な分野における超伝導材料・応用機器の研究開発のあゆみを振り返るとともに、次の100年に向けての展望についても議論し、超伝導研究者以外の幅広い分野の研究者・技術者、および一般の人にも超伝導の歩みと現状、将来について知っていただく機会とすることを目的としています。

日時:平成23年8月30日(火) 9:00～16:55

場所:山形県郷土館「文翔館」(山形市旅籠町3-4-51)

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:応用物理学会事務局

(TEL)03-3238-1044

## 2. 工学部公開講座『高分子ナノテクノロジーの最前線』

- (概要) ◆近年、ナノテクノロジーに関する様々な研究開発がなされ、ナノレベルで分子を制御し、その特性を活かす加工技術により新しい材料の開発や技術が提案されています。
- ◆本講座では、工学部機能高分子工学科で研究が進んでいる、「高分子微粒子の精密合成」「高分子鎖の精密観察」「精密成形加工技術」に関する最新のトピックスを紹介します。

日 時:平成23年8月26日(金) 13:30~16:30

場 所:山形大学東京サテライト(東京都港区芝浦 キャンパスイノベーションセンター)

対 象:企業、一般、高校生、関東地区 機能高分子工学科OB 定員70名

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:工学部広報室

(TEL)0238-26-3419

## 3. 附属中学校公開講座『親子で楽しむ秋の星座』

- (概要) ◆親子が一緒の自然体験は、原体験として深く刻まれます。また、秋の夜空を眺めて語り合える親子の姿には温もりと絆が感じられます。
- ◆そこで、六稜ホールプラネタリウムで夏・秋の星座や銀河系を見たり、天体望遠鏡を用いた星座の観察と神話等の説明から、宇宙のロマンを実感して秋の星の楽しみ方を学びます。

日 時:平成23年9月3日(土) 18:30~

場 所:山形大学附属中学校(山形市松波)

対 象:中学生以下の親子 150名

受講料:1家族 500円

問い合わせ:山形大学附属中学校

(TEL)023-641-4440

## 4. 附属幼稚園 すこやか広場『親子でぺたぺた、まぜまぜしよう』

- (概要) ◆幼児期は、人格形成において、とても大切な時期です。豊かな遊びを体験し、周囲の暖かい愛情と支援を受けて健やかに成長していきます。
- ◆本講座では、子どもへの関わり方のお話しや、親子で実際に遊びながら、親子の絆を深め、幼児期の子育てについて楽しく学びます。

日 時:平成23年9月7日(水) 14:30~15:45

場 所:山形大学附属幼稚園(山形市松波)

対 象:2~3歳児 親子50組

問い合わせ:山形大学附属幼稚園

(TEL)023-641-4446



## 5. Y-MOTネットワーク『イブニングサロン in YONEZAWA』

(概要)◆Y-MOTネットワークは、大学理工学研究科ものづくり技術経営学専攻のOB組織です。地域の中小企業に対して、専門知識を集結し、企業・産業に課題解決型のサービスを提供する事業を行い、広域的な経済・産業の活性化、雇用の創出を支援し、社会の発展に寄与することを目的として、平成22年5月27日に設立された特定非営利活動法人(NPO)です。

◆シーズやニーズの出会いの場として、新しいタイプの異業種交流を体験してください。

◆今回のテーマは「東日本大震災を考える!」です。

日 時:平成23年9月10日(土) 18:00~19:30

場 所:山形大学工学部街中サテライト(米沢市・大沼デパート前)

参加料:1,000円(資料代・飲み物代)

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:Y-MOTネットワーク(渡邊 毅)

山形大学国際事業化研究センター街中キャンパス内

(TEL) 0238-40-0761

## 6. 農学部 ひらめき☆ときめきサイエンス『生物の多様性を考える

—土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用—

(概要)◆現在、活躍している研究者と大学の最先端の研究成果の一端を高校生が見る、聞く、触れることで、学術と日常生活との関わりや、科学がもつ意味を理解してもらうプログラムです。

◆普段はめったに見ることができない大学の研究や研究者との対話などから、科学の楽しさ、難しさ、不思議に触れてみましょう。科学に関心を持つ高校生の皆さんの応募をお待ちしています。

日 時:平成23年10月15日(土) 9:00~16:10

場 所:山形大学農学部3号館(鶴岡市・農学部キャンパス)

対 象:高校生20名

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学農学部企画広報室

(TEL)0235-28-2910

## 7. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので開催がせまっているイベント

当日の取材をよろしくお願いたします。

### ○高校生朗読コンクール「井上ひさし—いま、言葉を東北の灯に」

本 選:平成23年9月3日(土)13:00~17:00

場 所:シベールアリーナ(山形市蔵王松ヶ丘 2-1-3)

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学渉外部社会連携・図書・情報課 図書担当

(TEL) 023-628-4016

# 「有機EL研究開発25年：これまでとこれから」

有機ELは、1987年の米Eastman Kodak社のC. W. Tangらによる薄膜積層構造の提案から、燐光発光、マルチフォトンエミッション構造等のブレークスルーを経て、環境にやさしい高効率な次世代光源としての地位を確立してきました。有機ELは日本が世界を牽引してきた分野であり、一部製品化が進んでいますが、まだ学会として取り扱う部分は、奥深く広範囲に広がっており、より深く解明すべき内容が多々あります。今後、新原理に基づく新規材料、新デバイス開発や外部量子効率の更なる改善に向けて、研究開発を進めていく上で指針となるべく、特別シンポジウムを企画しました。その発展に貢献してきたEL研究開発の拠点の1つである山形にて、今後も世界をリードし続けるために、有機ELのこれまで、これからを議論したい。

日時： 2011年8月29日(月)9:20-18:00

会場： 基盤教育棟2号館 2F-222 (ZF会場)

<9:20-9:50>

1. インタロダクトリートーク： OPC感光体から有機ELへ  
横山 正明 (阪大)

<9:50-10:50>

2. 特別講演： 白色有機EL：研究室から量産まで  
城戸 淳二 (山形大)

<10:50-11:30>

3. MoOxの正孔注入効果の発見とその後の進展  
時任 静士 (山形大)

昼食 11:30-13:00

特別コラボレーション企画(主催：(株) 日刊工業広告社)

： 有機EL特別展示 会場：第2体育館

<13:00-13:40>

4. 有機TFTで駆動したフレキシブル有機ELディスプレイ  
八木 巖 (ソニー)

<13:40-14:20>

5. 光る高分子： 高分子有機EL材料の開発と今後の展望  
山田 武, 津幡 義昭 (住友化学)

<14:20-15:00>

6. 有機EL照明の現状と将来展望  
菰田 卓哉 (パナソニック電工)  
<休憩 15:00-15:20>

<15:20-16:00>

7. 有機EL素子の光学デザイン - 無損失光源へのアプローチ  
三上 明義 (金沢工業大学)

<16:00-16:40>

8. 有機EL素子の電子構造研究：  
超高真空下のモデル界面から大気雰囲気下の実用界面まで  
石井 久夫 (千葉大)

<16:40-17:20>

9. 有機EL素子特性の作製条件依存性 - その起源を探る  
梶 弘典, 福島 達也, 福地 将志(京大), 安達 千波矢(九大)

<17:20-18:00>

10. 有機発光材料の新展開  
安達 千波矢 (九大)



世話人：梶井 博武(阪大), 中山 健一(山形大), 野口 裕(千葉大), 横山 大輔(山形大)

お問い合わせ先：応用物理学会事務局 TEL03-3238-1044 e-mail: technical-meetings@jsap.or.jp



# 100年の歴史に学ぶ超伝導

## ～新たな100年の発展に向けて～



ヘイケ・カメルリング・オネス

超伝導はちょうど100年前にオランダのカマリン・オネスによって発見された特異な物理現象です。これまでに数多くの超伝導体が開拓されるとともに、近年、エネルギー、輸送、医療、材料プロセスなど幅広い応用分野において種々の超伝導システムが開発・利用される時代に至り、さらに超伝導技術は21世紀のキーテクノロジーとして期待されています。

本特別シンポジウムでは、この超伝導発見100周年を記念し、様々な分野における超伝導材料・応用機器の研究開発のあゆみを振り返るとともに、次の100年に向けての展望についても議論し、超伝導研究者以外の幅広い分野の研究者・技術者、および一般の人にも超伝導の歩みと現状、将来について知っていただく機会とすることを目的としています。

プログラムは三部構成とし、午前中(第一部)は材料開発・現象解明といった基礎的な事柄を中心に扱い、午後の第二部の冒頭にシンポジウム内特別講演の位置づけで開発の歴史の総括と新たな100年に向けての展望を述べていただき、続いての講演で応用開発の核の一つである、高温超伝導線材開発の現状をご紹介いただきます。最後の第三部においては、パワー・デバイス分野の応用開発の現状と将来性についての各論の紹介を行ないます。

多くの皆様のご参加をお待ちいたします。

**参加費  
無料**

**期日** 2011年8月30日(火)

**会場** 山形県郷土館「文翔館」

住所：山形市旅籠町3丁目4番51号

**定員** 200名

### プログラム

9:00~9:05	幹事長挨拶(主旨説明) 九州大 圓福 敬二	13:20~14:20	【特別講演】100年の歴史に学ぶ超伝導 ～新たな100年の発展に向けて～ JST 北澤 宏一
9:05~9:45	超伝導物質 NIMS 戸叶 一正	14:20~14:55	銅酸化物系線材 フジクラ 飯島 康裕
9:45~10:25	超伝導現象 農工大 内藤 方夫	14:55~15:10	休憩
10:25~10:40	休憩	15:10~15:45	超伝導線材応用 —超伝導マグネット技術を中心に— 理研 前田 秀明
10:40~11:20	超伝導材料の電磁現象 九工大 松下 照男	15:45~16:20	超伝導デジタルエレクトロニクス 名大 藤巻 朗
11:20~12:00	金属系線材 低温工学・超伝導学会 田中 靖三	16:20~16:55	超伝導アナログエレクトロニクス 豊橋科技大 田中 三郎
12:00~13:20	第2回超伝導分科会論文賞、研究奨励賞授賞式 昼食休憩		

### 問合せ先

公益社団法人 応用物理学会 事務局 講演会担当  
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-22 湯島アーバンビル7F  
TEL 03-5802-0862 FAX 03-5802-6250 (7月25日より)



# 高分子ナノテクノロジー

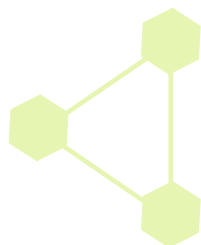
## の最前線

近年、ナノテクノロジーに関する様々な研究開発がなされ、ナノレベルで分子(原子)を制御し、さらに、その特性を活かす加工技術により新しい材料の開発や技術が提案されています。特に、高分子材料は、身の回りの素材、部品に使用され、その応用は有機デバイスのみならず、環境・エネルギー、バイオ・医療、ITなどの幅広い分野にわたり、実用化を視野に入れた開発が急速に広がっています。ここでは、「ものづくり技術」を十分に活かすことができる分野でもあります。ナノテクノロジーは極微細な構造からマクロな物性までを視野に入れるため、基礎と応用の両輪からのアプローチ、さらには分析・解析技術の進歩も重要であります。本講座では、機能高分子工学科で研究が進んでいる、(1) 高分子微粒子の精密合成、(2) 高分子鎖の精密観察、(3) 精密成形加工技術、に関する最新のトピックスを紹介します。



受講料無料

入退場自由  
途中からの参加も  
歓迎いたします!



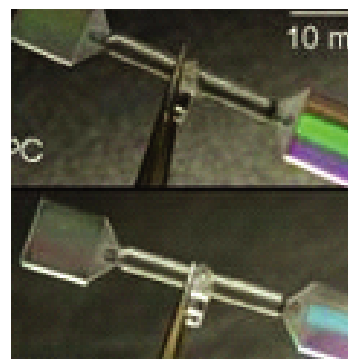
**時間** / 13:30~16:30  
**場所** / 山形大学東京サテライト  
東京都港区芝浦3-3-6 キャンパスイノベーションセンター  
**受講対象** / 企業、一般、高校生、関東地区 機能高分子OB  
**定員** / 70名

13:00 受付開始 13:30~13:35 開会のあいさつ及びスケジュール説明(教育プログラム長/森 秀晴 先生)

**1 高分子微粒子の精密合成とフルカラー電子ペーパーへの応用**  
13:35~14:25 川口 正剛 先生

**2 合成高分子の高分解能原子間力顕微鏡観察**  
14:25~15:15 熊本 治郎 先生  
15:15~15:30 休憩

**3 高分子材料の精密成形加工技術~マイクロ・ナノ加工技術**  
15:30~16:20 伊藤 浩志 先生  
16:20~ 全体的な質疑応答 閉会のあいさつ(教育プログラム長/森 秀晴 先生)

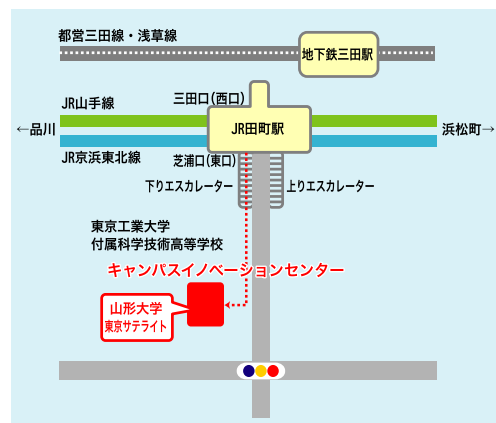


回折格子サンプル  
ナノオーダーの表面構造を制御

### 参加申込書〈受講料無料〉

必要事項を記載の上、FAXまたはメールにてお申込ください。  
ご登録いただいた情報は、参加者の確認にのみ利用させていただきます。

氏名	
所属 (学校・勤務先名)	
電話番号	
メールアドレス	



# イブニングサロン in YONEZAWA

シーズやニーズの出会いの場  
新しいタイプの異業種交流を体験しましょう  
ドリンク片手に情報交換しませんか？

## 第7回

日時:平成23年9月10日(土) 18:00~19:30

会場:山形大学街中サテライト(米沢市門東町3-1-47)

TEL:0238-40-0761 内容:

### \* 東日本大震災を考える!

・「復興への第一歩！」

浪江町 (株)鈴木酒造店専務取締役 鈴木 大介 氏

・「風評被害と支援」

福島路ビール(M-5) 吉田 重男 氏

・「相馬焼きの移転と再建」の紹介

福島県ハイテクプラザ(M-1) 宇野 秀隆 氏

### \* フリーデスカッション

・「今、我々の出来ることは何か？」

コーディネーター(M-1) 池田 謙 氏

### \* 情報交換・名刺交換

参加費:1000円(資料代・飲み物代)

飛び入り発表・差し入れ 大歓迎です。

会場準備の都合上 9月5日までお申し込みください

申し込み : E-mail: [saitomasak@pref.yamagata.jp](mailto:saitomasak@pref.yamagata.jp)(齋藤まで)

主催 : (NPO法人) Y-MOTネットワーク

[出 欠] 恐れ入りますが出席される場合のみ、9月 5日(月)までメールまたはFAXにて下記宛てに御連絡願います。

FAX 0238-40-0765  
mail:saitomasak@pref.yamagata.jp

(連絡先)

〒992-0039 米沢市門東町3-1-47 街中キャンパス内  
Y-MOTネットワーク(渡邊 毅)  
TEL:0238-40-0761 FAX:0238-40-0765  
[mail:watanabe@srk.jp](mailto:watanabe@srk.jp)

### 出席連絡表

企業名:

- 役 職:

- 氏 名:



# 生物の多様性を考える。

参加申込書 土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用

●期日 2011.10/15.Sat  
9:00~16:00(受付は8:30より開始)

●会場 山形大学農学部3号館

●対象 高校生/定員20名(先着順)

●参加費 無料(昼食付)

●申込締切日 2011.9.16(金)

●参加ご希望の方は9月16日までに、E-mail、FAX、  
電話で下記お問い合わせ・お申し込み先まで  
お申込ください。

生物の多様性は、進化および生物圏における生命の維持のため重要ですが、すべての生物(微生物、植物、動物)は、個々に生きているわけではありません。それぞれの生物種は、他の生物種とともに一定の生物圏の中に組み込まれて生存競争のもとで相互依存的に生息しています。そこで本プログラムでは、最初に土壌微生物、植物、昆虫を対象としたインドネシアと日本で実施した研究成果を紹介し、次に、土壌微生物、植物、昆虫を対象としたそれぞれの実習を行い、農学のおもしろさを広くお伝えします。どうぞ、お気軽にご参加ください。

## 未来博士号が授与される 高校生対象特別プログラム

- 講師/安田弘法教授  
西澤隆教授/俵谷圭太郎教授  
村山秀樹教授/佐藤智准教授
- 講義/生物の多様性を考える  
~土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用~
- 実験1/土壌微生物を観察する  
~菌根菌の役割~
- 実験2/植物を分析する  
~ポリフェノールの役割~
- 実験3/昆虫を観察する  
~植食者と捕食者の関係~
- なんでも質問コーナー

## 主催:山形大学農学部

●お問い合わせ・お申込み先/山形大学農学部企画広報室  
山形県鶴岡市若葉町1-23 〒997-8555 tel.0235-28-2910 fax.0235-28-2812  
E-mail:nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp







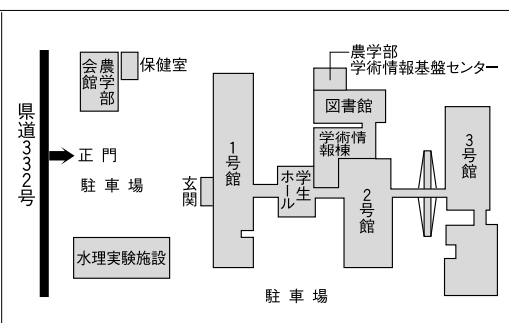
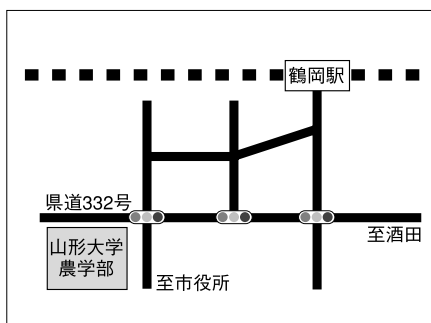
未来博士号が授与される、高校生対象の特別プログラム

# 生物の多様性を考える

## ●当日のスケジュール

土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用

- 8:30~9:00 受付(3号館1F)
- 9:00~9:15 開講式
- 9:15~10:00 講義/生物の多様性を考える  
……土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用
- 10:00~10:15 休憩
- 10:15~11:35 実験1/土壌微生物を観察する  
……菌根菌の役割
- 11:35~12:35 昼食(教員、学生、参加者との交流)
- 12:35~13:55 実験2/植物を分析する  
……ポリフェノールの役割
- 13:55~14:25 休憩(クッキータイム)
- 14:25~15:45 実験3/昆虫を観察する  
……植食者と捕食者の関係
- 15:45~16:00 修了式(未来博士号授与)



この申し込み用紙に必要事項をご記入の上、ファックスでお申し込みください。

fax.0235-28-2812

## 参加申込書

平成 年 月 日

●お名前(フリガナ)		□男性 □女性
●ご住所 〒 <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/>		
●TEL ( ) ( ) ( )	●FAX ( ) ( ) ( )	●メールアドレス
●学校名	●年齢 ( )才	●保護者同意の有無 □同意あり □同意なし
●このプログラムに期待すること		

●ご記入いただいた個人情報については、本事業に関する準備、連絡以外には使用いたしません。●不明な点などがありましたら、下記までご連絡ください。

〈お問い合わせ・お申込み先〉山形大学農学部企画広報室  
山形県鶴岡市若葉町1-23 〒997-8555 tel.0235-28-2910 fax.0235-28-2812  
E-mail.nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ときめき、ひらめき、サイエンス  ●下記のホームページからお申し込みができます。

<http://www.jsps.go.jp/hirameki>



リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

山形大学特別プロジェクト 井上ひさしの東北  
**第四回山形大学高校生朗読コンクール**

**井上ひさし**

いま、言葉を

**東北の灯に**

山形大学は、弦地域文化支援財団と共催で、第四回高校生朗読コンクール「井上ひさし」いま、言葉を東北の灯に」を開催いたします。山形大学では平成19年度から特別プロジェクト「藤沢周平の山形」を3年計画で展開し、山形県出身の藤沢周平を通して「東北のこころ」を探りました。その一環として、高校生朗読コンクールを開催、多数の応募をいただきました。平成22年度は、やはり山形県出身の作家井上ひさしの作品に焦点をあて、「東北のことばとこころ」をテーマとした朗読コンクールを開催いたしました。そして今年度より、新たに「特別プロジェクト井上ひさしの東北」をスタート、その一環として、第四回高校生朗読コンクールを開催いたします。今回は山形県をはじめとする東北地方の高校生たちが集い、力一杯の朗読を披露します。東北の未来を担う若い世代への温かいご声援を賜りますよう、多くの皆様のご来場をお待ち申し上げます。

**平成23年9月3日(土)**

開場 13:00 開始 13:30 (終了 16:30頃)

**プログラム** 第1部：高校生による朗読コンクール本選  
朗読作品：井上ひさし「イソップ株式会社」より

第2部：講演「井上ひさしのことばの音」



あくと きみお  
**肥土貴美男 (NHKアナウンサー)**

1956年埼玉県秩父市出身。昭和55年NHKに入局し、北海道東北の各地で勤務。2009年より現職。主な担当番組は、「ウィークエンド東北」キャスター(総合テレビ：毎週土7:30~8:00)、「サバトセラ東北」プロデューサー(FM：毎週土18:00~18:50)など。著書に東北・北海道の地域おこし取材した「21みちのくロマン」(東北地域文化研究所出版)がある。

第3部：コンクール結果発表・講評・表彰式

**会場** シベールアリーナ 山形市蔵王松ヶ丘二丁目1番3号

**対象** 一般市民 定員500名(入場無料・要事前予約)

※来聴申込・お問合わせはなるべくFaxまたはE-mailをお願いします。  
 来聴申込に際しては、お名前・ご住所・電話番号をお知らせください。

■来聴申込・お問合わせ先：

山形大学 渉外部 社会連携・図書・情報課  
 Tel:023-628-4016 Fax:023-628-4849  
 E-mail:k-tojyoki@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※電話によるお問合わせは、平日9:00~17:00にお願いします。

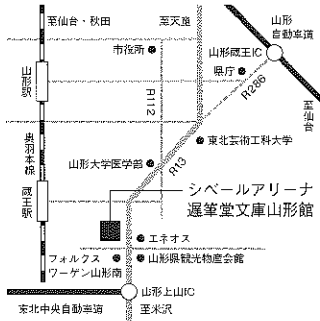
シベールアリーナ

Tel:023-689-1166 Fax:023-689-1167

※電話によるお問合わせは、月曜日を除く10:00~18:00にお願いします。

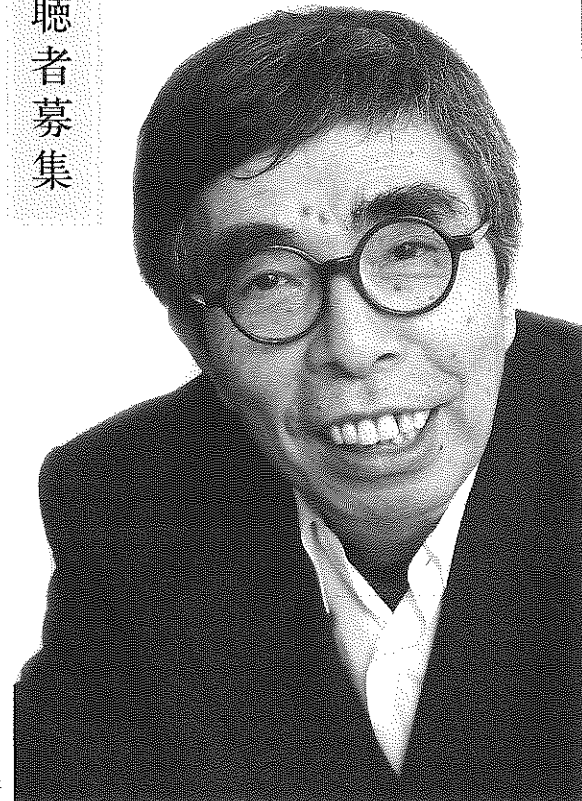
主催：山形大学

共催：弦地域文化支援財団



写真撮影：落合高仁

来聴者募集



第四回山形大学高校生朗読コンクール 来聴申込書

Fax:023-628-4849

住所	〒		
ふりがな	人数	Tel :	
代表者氏名		Fax :	
		E-mail :	